

三島のNPO法人 未来創造大賞受賞

中部地方の優れた地域づくり活動を顕彰する「中部の未来創造大賞」の表彰式が九日、名古屋市中区であった。写真。愛知、岐阜、三重、静岡、長野の五県から三十六件の応募があり、NPO法人グラウンドワーク三島(静岡県三島市)に大賞が贈られた。同団体は、



三島市と静岡県沼津市の境にある松毛川で、放置された竹林の伐採や植林、清掃に取り組んできた。

渡辺豊博専務理事は「一人一人の力は小さいが、足し算で大きな力に変わる。汗をかいた成果が形として残り、達成感がエネルギーになっている」と話した。

五県や中日新聞社などでつくる推進協議会が主催し、今年で二十一回目。他の主な入賞団体は次の通り。

中日新聞社賞 NPO法人チームみらい中津川市防災市民会議(岐阜県)▽優秀賞 静岡県立掛川西高校パソコン部(静岡県)、防災ママかきつばた(愛知県)、角文株式会社(同)▽中部経済連合会賞 愛知県立南陽高校 Nanyo Company部(同)